

安井息軒

【やすいそっけん】

(1799-1876) 江戸後期・幕末の儒者。日向(ひゆうが)の人。名は衡、字(あざな)は仲平。江戸で松崎慊堂に師事。郷里飫肥(おび)藩の儒官を経て、昌平坂学問所の教授。漢唐の注疏に基づく考証学を主とした。他に「海防私議」「弁妄」など警世の論、「読書余適」「息軒遺稿」「論語集説」など。

- 幕末辞典 -